

2020/7/17

株式会社輝

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第四報）

住宅型有料老人ホーム「かがやき八軒」の「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」について続報をお知らせいたします。

7月1日を最後に新たな感染者は確認されず、事業所内での感染拡大は収束したとの札幌市保健所の判断を受け、7月17日をもって現地対策本部の活動が終了となりましたので、お知らせいたします。

「かがやき八軒」では、札幌市保健所を中心に国・地域の支援のもと現地対策本部が設立され、ご入居者が安全で安心できる生活を送れるよう、感染拡大の防止に努めてまいりました。これまでに明らかとなりました発生状況と対応について取りまとめましたのでお知らせいたします。

これまでの発生状況

「かがやき八軒（定員 85 人）」の職員とご入居者及びご利用者における新型コロナウイルスの感染者について、事業所での感染管理上の必要性から症状の有無に関わらず、原則、職員とご入居者、デイサービスご利用者は検査を実施しており、7月16日までに合計で 21 人（内訳：職員 6 人、ご入居者及びご利用者 15 人）の新型コロナウイルスの感染者が確認されました。

医師の判断にもとづき、ご入居者のうちの陽性者は全員病院にて加療を行うとともに、全てのご入居者及びご利用者、職員を濃厚接触者として健康観察を行ってまいりました。7月16日時点で亡くなられた方は確認されておりません。

これまでの対応

「かがやき八軒」では保健所や国・地域の感染症診療・感染症対策・医療体制の支援のもと、デイサービスの閉鎖とともに以下の対応を実施いたしました。

1. ご入居者及びご利用者への介護サービスの継続
2. 感染者の情報の収集と整理
3. 事業所での感染者に対する健康観察と健康状態悪化時の医療機関への入院加療
4. 濃厚接触者の健康観察及び必要に応じた検査実施
5. 事業所の業務に従事する人に対する感染管理（個人防護具の調達、感染管理指導、ゾーニングへの助言）

皆様には大変ご不便ご心配をお掛けいたしました。が、職員やご入居者・ご利用者の安全を第一に感染予防対策を進め、関係者が一つとなって引き続き取り組みました結果、7月14日より隔離の解除が行われ、順次、病院から戻られる方をお迎えしているところです。また、本日7月17日に、札幌市が主体になって設置していた「かがやき八軒現地対策本部」が活動を終了しました。

今後、保健所や国・地域のアドバイスのもと、以下の通り、感染予防の取り組みを強化し、事業所内感染の再発防止に努めていきます

- 1 日常的な感染症の早期発見と監視体制の構築のため健康観察体制を再構築する
- 2 外部からの感染症持ち込み防止のため、来訪者や面会家族の健康チェックを行う
- 3 法人、事業所として、集団感染発生の兆しを早期発見するためのシステムを整える
- 4 感染管理担当者を任命し感染症発生時の指揮が取れる体制を確立する
- 5 標準予防策の職員研修を入社研修以外に定期的に実施する
- 6 環境清掃・消毒・標準予防策の手順化を徹底する
- 7 感染防御のための備蓄を準備する
- 8 事業所内清掃の仕様を再検討し、環境からの感染拡大を防止する
- 9 職員の健康に配慮した勤務体系を構築する

以上の取り組みを通して、事業所、法人としてご入居者さまが安心して暮らしていけるよう、今まで以上に感染対策と健康管理に力を入れ、職員一同、取り組んでいきます。

以上